

令和4年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立来待小学校）

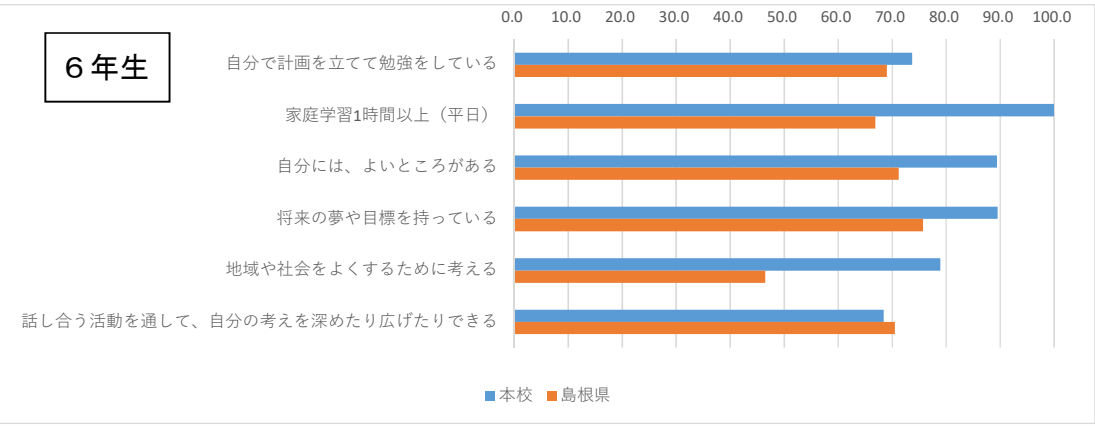
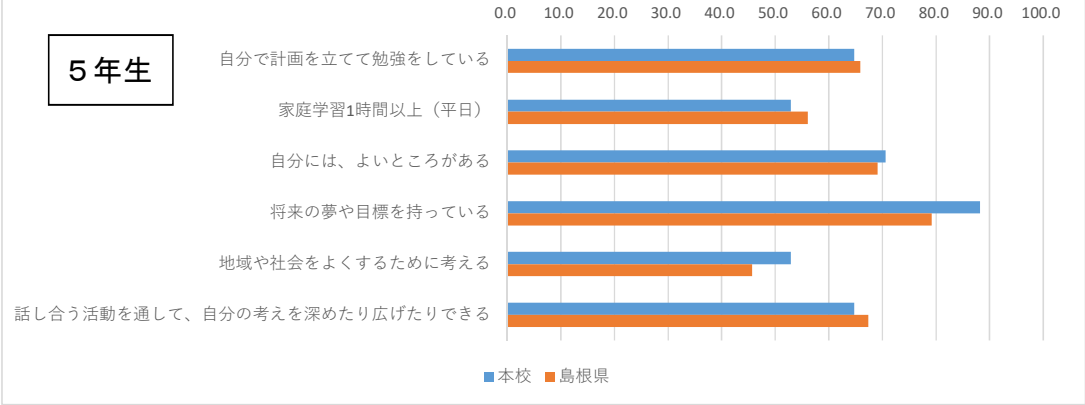
(1)学力調査結果から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

5 年 国 語	○目的に応じ必要な情報を用いて文章を書いたり、自分の意見や理由を明確にして文章を書いたりすることができる児童の割合が、県平均に比べてかなり高い。 ●言葉の特徴や使い方に関する事項、例えば修飾語や敬語などの理解が十分ではなく、それらを正しく使うことができない。 ●物語文では、登場人物の心情や様子について、描写を基に捉えることができない。 ●条件に沿った長さや構成で文章を書いたり、理由を明確にして自分の考えを書いたりすることができない。	6 年 国 語	○漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。また、文章の中で、文脈にそった漢字を適切に使うこともできる児童が多い。 ●物語文では、登場人物の心情や様子について、描写を基に捉えることができない。 ●条件に沿った長さや構成で文章を書いたり、理由を明確にして自分の考えを書いたりすることができない。
5 年 算 数	○小数の乗法の意味を理解し、小数倍の文章問題などを、図を用いて解いたり立式したりすることができる児童が多い。 ●比例の関係や図形の角の理解が十分ではなく、一方の値を求めたり三角形の外角を求めたりすることができない。 ●小数や分数の計算力の定着が必要である。	6 年 算 数	○図形の学習において、面積や体積を正しく求めることができる。また、対称な図形について理解し、作図することができる児童が多い。 ●分数の乗法・除法の意味や問題場面を理解し、立式、計算して正しい答えを求めることが、ややできない。

(2)生活意識調査から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

5 年	○自分のよさや自分らしさを自覚し、将来の夢や目標をもって生活、行動している児童がかなり多い。 ●家庭学習に、自分で計画を立てて主体的に取り組んだり、学年相応の時間(平日1時間以上)取り組んだりする児童が、あまり多くない。	6 年	○家庭学習の習慣が身に付いており、平日は1時間以上取り組んでいる児童がほとんどである。 ○地域のことについて関心をもち、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」と回答する児童の割合が、県平均と比較してかなり高い。
--------	---	--------	--

(3)意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 5年生 18名 6年生 20名 ※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。